

## 1 情報セキュリティの考え方

### 1.1 情報セキュリティの3要素, 6要素, 7要素

- 機密性 (Confidentiality) - 許可されたものだけがアクセスできる
- 完全性 (Integrity) - 情報・処理の方法が正確かつ完全
- 可用性 (Availability) - 許可されたものが必要な時に情報にアクセス可

↓

情報セキュリティの CIA

+

責任追跡性 (Accountability)

真正性 (Authenticity)

信頼性 (Reliability)

+

否認防止 (Non-repudiation)



確認) それぞれの用語・考え方を確認してみましょう！

### 1.2 時系列(時間の経過)で検討

事前対策

発生時の対応

発生後の対応

+

日常の運用

↓

継続的な改善活動が必要！

PDCA サイクルで考える ISMS (情報セキュリティマネジメントシステム)

ポイント)

IT 技術は変化し、そのままでは時代遅れになりうる

IT システムを安全にし、壊されにくくする

+

セキュリティを破られたときにどうするか? を考える

= 被害を最小にとどめるには?

= 絶対安全というものは現状では存在しない

### 1.3 管理方法(対策の内容)で検討

- 技術面 - IT, ICT 技術的な対策
  - 運用面 - 物理的な対策
  - セキュリティポリシー面 - 人的な対策
- +
- 外部委託による対策

ポイント)

原因のほとんどは人的な問題である

= 技術的な対策には限界あり

コンピュータは誰でも使用する(仕事上必要) だが、セキュリティ知識はバラツキあり

### 1.4 リスクで検討

リスクコントロール

抑止

予防

検知

回復

リスク管理

許容

低減

移転

回避



ポイント)

リスクの可能性と損害の大きさによってどれを選ぶのかが異なる

検討) 保険に加入することはリスク管理上のどれに該当しますか?

リスクと損失

リスクの要因

実際の損失

リスクの大きさ

ポイント)

リスクの大きさを見積もることは、情報資産の価値を考えることでもある  
優先順位付けや投資枠なども明確になる

## 1.5 情報資産

┌	紙文書	-	有形のもの	← 複製に手間
	電子データ	-	無形のもの	← 複製が簡単
	パソコン・システム	-		



IT, ICT への依存と利便性向上



使えなくなると業務が停止する場合あり

= 業務上必要な資産(守るべきもの) = 情報資産



ポイント)

資産の価値はそれぞれ異なる

情報の「形」によって、セキュリティ対策は異なる

情報がどこにどんな形で存在するか考える

情報資産の重要性を意識すること

検討) みなさんの周囲にはどんなコンピュータがありますか？

検討) みなさんにとっての情報資産とは？どんな対策を考えていますか？

検討) 紙情報と電子情報の扱いの違いは？